

(様式第2号)

## SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 3年 6月 16日

住 所 さいたま市北区宮原町3-372

県内企業等の名称 アート食品株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 田島郁也

アート食品株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

### 記

#### SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

近年需要が高まる野菜加工品のカット野菜生産処理技術において、弊社では長年基礎研究、量産化技術開発を進めて来ました。この技術は、従来型製法に比べ製造時の使用水、排水量の大幅な削減、時間あたりの労働生産性向上、原料、製品の廃棄ロスの削減に繋がります。今後、この技術を広く情報公開を進め、同業種企業間との技術提携を推進していきます。社内では、事業推進担当の増員。提携企業先では、製造技術者の育成カリキュラムの作成と実践。働き方、労働環境、労働時間の改善、フードロスの削減等広く提唱し、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①リモートワークによる営業、情報交換等を進め、出張頻度を軽減する。レンタカー使用 他県出張回数:180回/5人(令和1年実績) ②社内のペーパーレス化を実施、報告書類等の印刷物の軽減する。法令保管書類除く用紙使用:13000枚/10人/年(令和2年実績)	<2030年に向けた指標> ①出張回数:90回/5人/年 ②用紙使用:5000枚/10人/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①出張回数:120回/5人/年 ②用紙使用:10000枚/10人/年
社会	国内、海外問わず技術者の養成者増を実施する為に増員による社内体制の充実化を図る。 【現状】 ①国内技術者養成1名(令和1年) ②東南アジア等海外技術者1名(令和1年)	<2030年に向けた指標> ①国内:10社、15事業所8~10名/年 ②海外:2社/2名/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①国内:3社、4事業所3名/年 ②海外:2社/2名/年
経済	弊社、野菜加工の生産処理技術を提携先企業に展開し、水の使用量削減、労働生産性の向上、廃棄ロスの削減につなげる。 <現状> 提携先企業:2社2事業所(令和1年)	<2030年に向けた指標> 提携先企業:70社100事業所 <取組開始3年後に向けた指標> 提携先企業:9社12事業所

#### 【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。